真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月30日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 鬼怒水辺観察センター管理運営事業 | 担当課・係 | 市民生活部　環境課（根本山） |
| 政策名　No | 5　「環境づくり」～安全なまちアップ！～ | 関連する SDGs･DX |  |
| 施策名　No | 2　自然環境の保全と地球温暖化対策の推進 | | |

| 成果指標 名称 | 単位 | 初年度からの実績値の比較 R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 目標値 R11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市内の自然環境保全活動に参加している市民の割合 | % | 29.9 | | | | | 38.0 |
| センター利用者数 | 人 | 1,590 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

**事業内容**

・水辺観察センターの管理地である「オオバンの池(約7?)」及び「トンボの池(約3?)」の保全管理を計画的に実施し、貴重な水辺環境と動植物の生態系の保護を図っている。
・水辺観察センターにおいては、生息する野鳥やトンボなどの写真展示や情報提供、学校等団体の自然ガイド、自然体験教室などの自然環境学習を実施し、自然環境への関心・理解を深め、保全活動の参加へと?げている。

【令和６年度実績】
水辺観察センター利用者　1,840人　学校等団体利用者　5団体327人
自然体験教室開催　2回　31人
キーホルダー製作　5回　25人

**前年度の課題（Check）**

施設やイベントの情報発信の手法や、多様化するニーズに応えるための魅力的な自然体験教室やイベント等を検討し、利用者を増やす必要がある。

**7年度振り返り**

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
・水辺観察センター利用者
　1,590人
・自然体験教室の実施
　4回　104人
・学校等団体の自然ガイドの実施
　7団体　216人
・水辺観察センターの効果的運営・維持管理
・生息する野鳥やトンボなどの情報提供
・区域内緑地の芝生管理及び草刈、トンボの池の水質調査、トンボの池のヨシ・ガマ刈、樹木の剪定等の実施
・トンボ池遊歩道整地工事の実施
【２】結果と課題（Check）
・自然環境学習の推進を図るため、市民の多様化するニーズに応え、魅力的な自然体験教室やイベント等を計画するとともに、より一層、内容等について、工夫・充実を図り、利用者を増やす必要がある。

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・情報発信力強化のため、鬼怒水辺観察センターにパソコン及び通信環境の整備を行う。
・多様な主体による環境学習の実施

(2) 長期的な計画で検討すること
施設のあり方について、先進事例の調査研究を行う。